

駒橋発電所 3号機の営業運転再開について
～リプレース工事完了～

2026年6月25日

東京電力リニューアブルパワー株式会社

当社駒橋^{こまはし}発電所3号機（山梨県大月市）は、2024年10月より運転を停止しリプレース工事を実施しておりましたが、工事が完了し、昨日営業運転を再開いたしました。

駒橋発電所は、1900年代に工業化が進み大電力需要地となる京浜地区の電力供給ニーズに応えるために建設され、東京に水力発電の灯りを初めて灯した発電所で、日本における大容量発電・長距離送電の草分けになったと言われています。

このたびの工事では、長年使用した水車・発電機の取替を実施しました。水車・発電機の選定にあたっては、最適かつ高効率となる仕様を採用し、設備性能の向上を図りました。

その結果、3号機の最大出力は15,400kWから15,800kWへと向上し、発電所の最大出力は22,600kWとなりました。

当社がリプレース工事を実施した発電所は、駒橋発電所で33箇所となります。

当社は、今後も引き続き、地域のみなさまをはじめとする関係者さまのご理解・ご協力をいただきながら、安全最優先で発電所を運営するとともに、再生可能エネルギーの普及・拡大に貢献してまいります。

【発電所概要】

所在	山梨県大月市
運転開始	1907年12月
最大出力 (kW)	22,600 (3号機 15,800)

以上

発電機（工事前）



発電機（工事後）



水車（工事前）



水車（工事後）



発電所全景



受電設備

